



羊ヶ丘養護園 VOL.50 令和4年5月30日 発行者 一戸

第59回安全委員会が5月27日に開催されました！

今年度1回目の安全委員会は久しぶりに対面での開催となりました。報告ケースは令和4年3月1日から令和4年4月30日までの全4ケースであり、前年度に引き続き小学校低学年中心の暴力が報告されていますが、新年度のユニット変更や学校でのクラス替えを機に生活に変化があった児童の報告もなされ、良くも悪くも子ども達の生活にとって環境因の大切さが再認識された会議でもありました。

また、今回はコロナの影響で延期となっていた高3のB君への嚴重注意も併せて実施されました。

B君の嚴重注意について

今回、澤委員長を始め羊丘小学校、東月寒中学校の校長先生、札幌市児童相談所の先生方にご協力頂き、B君の嚴重注意を実施しました。B君は昨年3月の委員長注意以降も暴力を施設内外で繰り返し振るってしまった事で今回嚴重注意となりました。冒頭、澤委員長から「なぜ呼ばれたか分かりますか」と理由を尋ねられたB君は、自分の言葉で落ち着いて暴力に至った心境や振るった暴力について説明しておりました。外部委員の先生方からは、大人になって相手がどんなに悪くても、暴力を振るってしまったら犯罪になってしまう、社会に出て生活していく上で不利になってしまう事。B君の周りの人達はB君を支えようとしている事など伝えられました。また、安全委員会の三つの約束（叩くな口で言う・優しく言う・たとえ相手が悪くても叩かない）についてもB君と共に再確認しました。B君は現在高校3年生で進路選択の時期に来ております。この日「もう暴力は振るわない」と誓ったこの想いがB君の自己実現に向けた原動力となり得ることを願わずにはられません。

環境からくる暴力

前年度頻繁に安全委員会の報告に上がっていた小3のA君は、4月以降施設内での暴力も無くなり、学校では落ちついて授業に参加できる日が増えており、委員の先生方からも評価をされました。一方、新入所が多く、児童の関係性の変化が大きかった女子ユニットでは、特定の児童を排斥するような嫌がらせが起きており、安全委員会方式を用いて職員が迅速に対応出来たことの意味について確認することが出来ました。どちらも新年度の環境の変化がもたらした結果ではありますが、この事からも改めて発達課題の大きい子や周囲の刺激に敏感な子にとっての環境整備の大切さを考えさせられるエピソードでありました。

～お知らせ～

令和4年度第13回全国児童福祉安全委員会全国大会（三重大会）の予定は以下の通りです。

日程：10月27日(木)、28日(金)

会場：参加方法については現在調整中。

今回初めて定例安全委員会に陪席させて頂き、ありがとうございました。定例安全委員会が実際にどのように進行していくか学ぶ良い機会となりました。また、嚴重注意にも同席させて頂いたことで、嚴重注意がただ単に注意するものではなく、やってしまった失敗をユニット職員や委員の方々と共に見つめ直し、自分自身を客観的に振り返る仕組みの一つであると感じました。今回感じた事を今後の業務に活かしこれからも子ども達のケアに努めていきたいです。

保育士 一戸 京華